

『歯科技工 職人展』

第4地区(中支部)野田 潤一

8月28日(金)に岐阜県穂積市で開催されていた「歯科技工 職人展」(主催:dce歯科技工職人展実行委員会)を見学させていただきました。この職人展はもともと今年の5月14日～6月16日の開催予定だったものが、新型コロナウイルスの影響を受け8月6日～9月6日に延期になったものでした。

見学に行くきっかけは展示会場がオシャレなカフェ(ラッフルズカフェ 2F)で行っていたことで、一般の方が利用するカフェで歯科技工をどう見せているのかに興味を持ったからです。

展示内容としては審美技工、矯正技工等に加えてギターをかたどったアクセサリ、金属床の口蓋部分に仏像をデザインされていたりと、歯科技工の技術を「見える化」したもので、歯科医療関係者でなくても楽しめるものと感じました。別の日に見学に行った歯科技工士ではない同僚からは、「歯科技工の技術がアクセサリ作成とどう関連しているかなどがわかるとも一般の方でも興味が湧くのではないか」と意見ももらいました。

最後に今回のような企画が図書館や役所の展示コーナーなど、一般の方たちが立ち寄る場所で開催できればと感じました。「歯科技工 職人展」小さな一歩ですが、貴重な一歩でした。

